

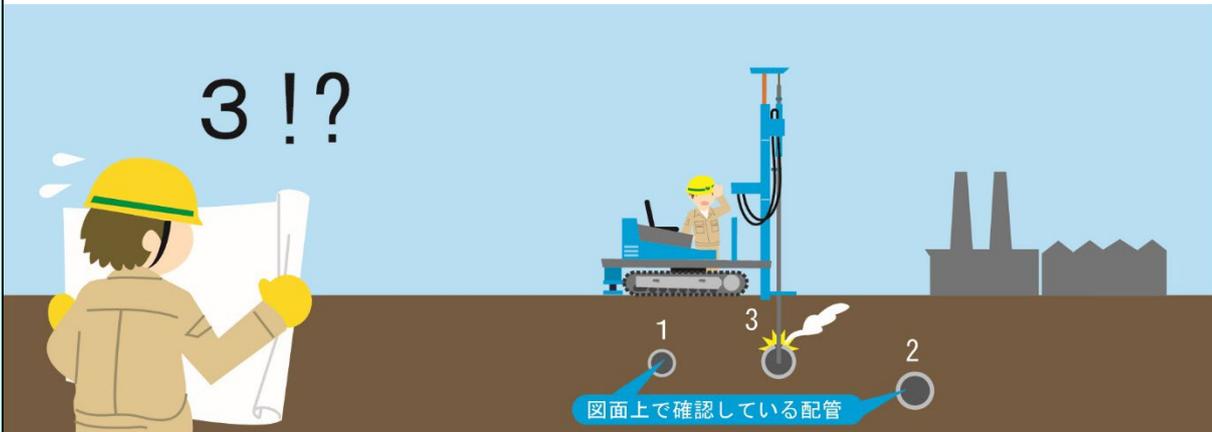
不具合事例		整理番号 C-04-001	
タイトル	ボーリング調査時に、地下埋設物を破損！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「配管はどこに潜んでいるか？ 分からない！！」</p>		
作業内容	ボーリング調査（有害物質による汚染深度の確認）		
使用機器	ボーリングマシン		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> ボーリング掘削中に、ガス管（φ80 mmのポリエチレン製、埋設深度 GL-0.8m）を破損した。 破損直後にガスが漏洩し、周囲に臭気が漂った。 その後、漏洩検知器により自動止栓され、ガスの漏洩は収まった。 幸い、ガスの漏洩による爆発や事故はなく、けが人もなかった。 もし、ガス漏洩により爆発が起きれば、大惨事になるところであった。 			
予防措置（計画者、監督者、作業員）			
<ul style="list-style-type: none"> 調査前に、図面、ヒアリング等により、地下埋設物の存在状況を把握する¹⁾。（計画者、監督者） 地下埋設物が存在する場所では、ダブルスコップ等を用いてある程度までは手掘りで試掘を行う¹⁾。（計画者、監督者） 地下埋設物の破損を想定し、破損した際の連絡体制、対応方法を、事前に関係者で打ち合わせておく。（計画者、監督者） 客先に立会いをお願いする。（計画者、監督者） 「異物にあたったときには掘削を強行せず、監督者に報告、相談する。」ように、作業員に指示を出す。（計画者、監督者） 慎重に作業を進める（手堀で作業を進める等）。（作業員） 異物にあたったときには無理に掘削せず、監督者に報告、相談する。（作業員） 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 安全が確保できる範囲で、早急に作業を中断。 職長に異臭状況を報告。 職長は客先へ連絡。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 一般的に都市ガスは空気より軽く、屋内でガス漏れがあると、天井付近に溜まる性質がある。 6A と呼ばれる一部の都市ガスとプロパンガスは空気より重いため、ガス漏れがあると、床付近に溜まる性質がある。 電力管を破損した場合、感電事故に至る可能性がある。 図面、ヒアリング等による地下埋設物の存在把握が十分でないときは地中レーダーによる調査も考えられる。 			
関連法規等、出典	・ 1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン 改訂第 3.1 版 Appendix-11_12		
キーワード	ボーリングマシン、深度方向調査、埋設物、試掘調査		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

ボーリング調査時に、地下埋設物を破損！

説明図

「配管はどこに潜んでいるか？分からない！！」



作業内容

ボーリング調査（有害物質による汚染深度の確認）

指示事項

- ・関係者及び担当作業員は、地下埋設物が想定される地点を作業開始前に確認する。
- ・地下埋設物が想定される地点では、手掘りで試掘を行う。
- ・試掘作業、掘削作業は埋設物、異物、漏洩物、臭いに注意して慎重に行い、異常があった場合には作業を中止する。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ！！

サイン